

牧草と園藝

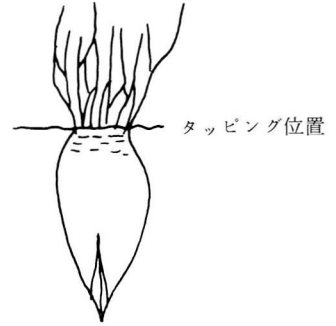


飼料用ビート貯蔵の7ポイント

——無駄なく有効に給与するために——

①収穫時期

10月末から11月上旬で飼料用ビートの外葉が黄色がかって垂れ下がってくる完熟期。



②タッピング（頸葉切り）

根部に葉を残さず、また、枯葉もすべて取り去り、根を切り過ぎないように行う。

③根部にキズをつけない

貯蔵中、腐敗発生が一番多い箇所が収穫時のキズ口である。

④抜き取り後は霜に当たらない

霜に当たり凍結した細胞は枯死し腐敗しやすくなるのでビートトップやテントで被覆を行う。

⑤貯蔵場所

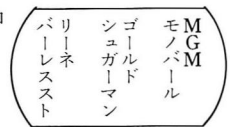
冬期間生鮮多汁質飼料として給与することが目的なので冬期運搬しやすく労力のかからない場所を選ぶ。

⑥品種の貯蔵性に応じた貯蔵

MGM, モノバール	5～6月まで貯蔵可能
シュガーマンゴールド	4～5月まで貯蔵可能
バーレスストリーネ	1～2月まで貯蔵可能

貯蔵性の低い品種から給与できるように貯蔵する（右図参照）。

取出口



⑦貯蔵温度、換気、排水

貯蔵温度は1～5℃を保つように、貯蔵場所に合った被覆と換気を行う。屋外の場合は、春先の融雪水が入らないように排水にも注意を行う。

